



生きづらさをかかえた子どもたち

～貧困と性…学校・家庭・地域のセーフティーネットを～



講師 **金子 由美子 さん**

(さいたまユースサポートネット副代表 性教協代幹事
チャイルドライン支援センター理事、元公立中学校養護教諭、
思春期の子どもたちに関わる書籍を多数執筆)

不登校やいじめの根っこに「貧困」があるのではないか、と思ったことはありませんか？
不登校傾向の子どもたちの家庭環境をよく見てみると、親は不安定な雇用形態で収入が低い
ケースが少なくありません。ダブルワークで時間に追われ、親はわが子の勉強の遅れ・困り
感に気づけない状況に置かれていることも…。地域の発達障害の相談窓口があることも知ら
ずに「地域から孤立」しているケースもあるそうです。



金子さんは川口市の公立中学校養護教諭として約40年間、思春
期の子どもたちに寄り添ってきました。心とからだ、子どもたちを
まるごと受け止め、そこから見えてくるもの、感じ取れるものを大
切にしてきました。

「ロールモデル(“あの人のようになりたい”という人を選び、その影響を受
けながら人は成長する)がみつからない子どもたちは、将来を展望で
きず、学習意欲も持てず、生活困窮から抜け出せないのです。刹那
的な生き方は、いじめ・不登校・暴力・性産業の罠のスパイラルに
陥りがちです。信頼できるおとなとして、子どもを中心としたセー
フティーネットを希求しましょう」という金子さんのメッセージを
いっしょに受けとりませんか。

金子さんの主な著書

☆日時：7月14日(土) 講演 13:30～15:30 (受付 13:15)

☆場所：埼玉教育会館 (浦和駅西口徒歩10分) 104会議室

☆参加費 300円 (資料代含む) 連絡先：埼玉教組 048-824-2511